

問い合わせ先

海上保安庁海洋情報部海洋調査課

課長補佐 古川 博康 TEL 03-3541-3815 (内線 621)

海上保安庁海洋情報部技術・国際課

地震調査官 西澤 あずさ TEL 03-3541-3813 (内線 553)

平成 19 年 7 月 18 日

海 上 保 安 庁

新潟県中越沖地震の震源域の海底調査を行います

海上保安庁は、7月16日に発生した平成19年(2007年)「新潟県中越沖地震(マグニチュード6.8)」の震源域の海底調査を実施します。

1 概 要

海上保安庁は、測量船「天洋」(船長:浜中崇典(ハマカカリ)、本庁所属:総トン数430トン)を用いて、新潟県中越沖地震の震源域の海底面の調査を行います。

今回の地震による海底面の変化を調査し、当該海域の海図の作成の資料とともに、地震の性質をより詳しく解明するための基礎資料とします。

調査の成果を速やかに取りまとめ、海図に反映させ、かつ、地震調査研究推進本部に提出することとしています。

2 調査等について

(1) 調査期間

平成19年7月20日から7月24日まで(5日間)

(2) 調査区域

水深約20m~400m、新潟県柏崎市付近沖合の新潟県中越沖地震の震源域(別紙参照)

(3) 調査内容(別紙参照)

マルチビーム測深機による海底地形調査

サイドスキャンソナーによる海底面調査

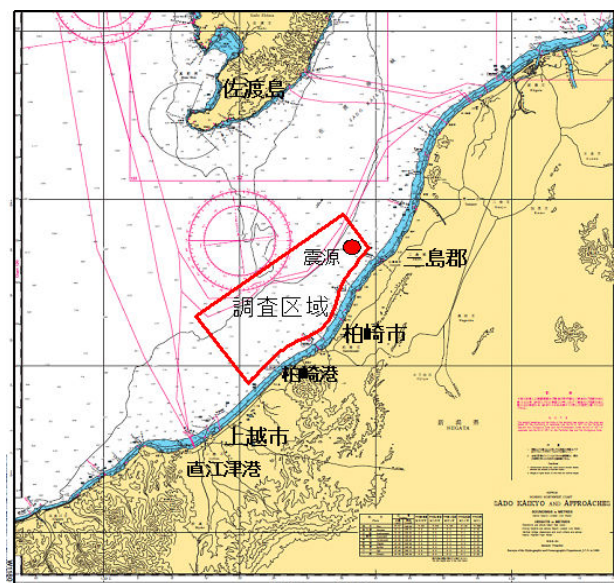
測量船「天洋」は、7月19日に新潟港入港を予定しており、その際、1500から1600に取材が可能です。取材希望の社は、新潟港西区での取材につきましては立入り制限区域になりますので、7月19日正午までに、第九管区海上保安本部総務部(TEL 025-245-0118(代表)(内線2111))あてご連絡をお願いします。

○調査船の概要



測量船「天洋」
 総トン数：430トン
 主要寸法 (m)：(全長×巾×深)
 56.0×9.8×4.8m

○調査区域



○マルチビーム測深機

船の直下から最大で左右60度の範囲（水深の約3倍の幅）の水深データを連続的に取得することができ、詳細な海底地形図を作成することができます。

○サイドスキャンソナー

曳航体から扇形ビームの超音波を左右両側に発射し、海底面から反射されてきた受信信号の強度を記録紙上に記録し、海底面の起伏を画像として捉えることができます。

【マルチビーム測深機での調査概念図】

【サイドスキャンソナーでの調査概念図】

